

理学療法士の臨床能力には、専門職としての誓い (profess) に基づく真摯な態度に加えて、臨床推論 (clinical reasoning) 力とともに確かな技術が不可欠です。

冒頭の文章は、2010 年 8 月号で徒手理学療法 (manipulative physical therapy) を特集した際の編集後記の一文です。技術的な色彩が強いと考えられる特集と、生涯学習と教育を取り上げた本号とでは一見すると大きな違いがあるように思われます。しかし、両者はぶれることのない理学療法の目的と方法を共通言語として表現できます。

東日本大震災から 1 年が経ち、先月号の特集はまさにそれをテーマにしたものでした。わが国の現状に即して、このところ古典が見直され、尽きぬ井戸のような魅力が再認識されています。毎日新聞の余録では、鴨長明の方丈記の書き出しである「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」の一文が紹介されていました。脈々と受け継がれてきた思いは何事にも代えがたい貴重なもので、それを言語化・視覚化することで後世に伝えることができます。わが国の 45 年の理学療法は、絶えず何を追い求め、何を变えようとしてきたのかを考える必要があります。

新しい論点やモデルが示されると、それをいち早く取り入れようとする人、かたくなに拒否する人、以前から自分もそれをやってきたという人、など様々です。教育は個々および組織のかかわりであり、事実や技術とともに、そのタイミングや熱意が本質的な原動力となり得ます。客観性や論理性が重要であることに論を俟ちませんが、今回の座談会で多くの客観的テストを作り続けた専門家から、「数量化できるものを掬い取ろうと思うと、そこからサラサラと落ちるようなものがあって、落ちるものをもっていることが重要なんです。また、テストで測れるものはそう多くはなくて (笑)、経験のある立場の方の印象が大切なんです」と言われたことが頃から離れません。1 つのことを究めた穏やかな語り口調は、ずっと心の中に沁みこんでいきました。教育の目標は、信頼できる経験者を育てて認知し、その人達が後輩を育てる環境と循環を支援していく枠組みであるのかも知れません。

最近、高校生と話をする機会があり、理学療法の課題について尋ねたところ、「急激に学校が増えていることで、何よりも教員と教育の質を確保するのが難しいのではないかと感じています」と言われました。これまで、児童生徒として多くの学校や教育にかかわった educational guess は、また、学べ側の熟練者からみた本質的な思いであろうと感じました。4 月は出会いの季節です。

新鮮な出会いや思いは人を謙虚にすることにもつながります。日々の目標に精進していくことが継続的な働きかけとなって、国民の健康寿命の延伸に寄与するとともに日本の復興にもつながることと信じています。(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第 46 巻 第 4 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2012 年 4 月 15 日発行 (毎月 1 回 15 日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

定価 1,890 円 (本体 1,800 円 + 税 5%)

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

〔2012 年 年間購読料 (税込み、配送料 弊社負担) 冊子のみ 20,880 円、冊子 + 電子版/個人 23,880 円、冊子 + 電子版/共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、電子版/共有 24,100 円〕

(担当: 阿部・川上・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

広告室直通 (03) 3817-5696

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 株式会社 (03) 3637-0005

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 株式会社 医薬広告社 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY < (社) 出版者著作権管理機構委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に (社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
稲 員 恵 美
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
沖 田 実 樹
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 誠 二
富 樫 昌 夫
富 田 弘
長 澤 由紀江
長 野 基
中 村 春 明
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
深 浦 順 一
福 田 恵 美 子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里